

平成24年度後志総合振興局管内観光入込客数の概要

(平成26年8月4日 修正)

1 調査基本事項

(1) 調査内容

後志管内全20市町村による観光地点等における観光入込客数（延べ人数）の調査結果を集計。

(2) 調査対象期間

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(3) 調査項目

- ①観光入込客数 ②道外客・道内客（観光入込客数内訳）
③日帰り客・宿泊客（観光入込客数内訳） ④宿泊客延数

参 考～観光地点等とは北海道観光入込客数調査要領に基づく観光地点（観光・ビジネスの目的を問わず、非日常的な利用の多い観光活動の拠点となる地点）及び行祭事・イベントをいう。

2 調査結果概要

(1) 観光入込客数の状況

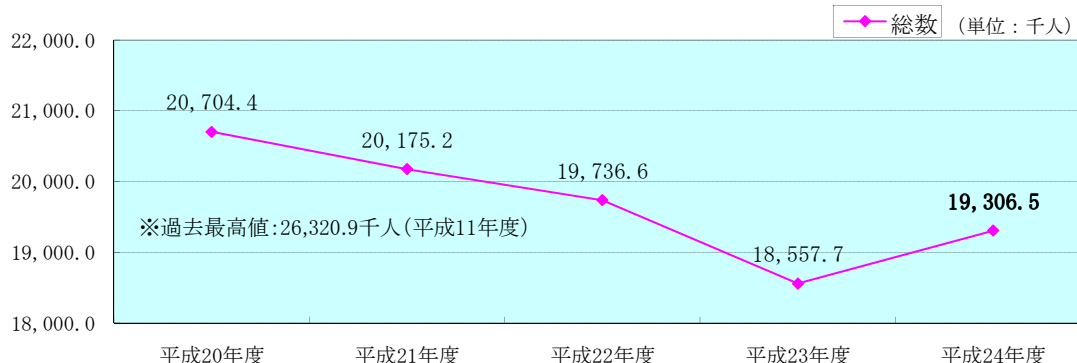
平成24年度における後志総合振興局管内の観光入込客数は、1,930万6,500人で、前年と比較し4%増、約75万人増加となった。

管内の状況として、格安航空会社の新千歳空港就航による道外客などの増加や、降雪に恵まれたスキーリゾートでの好調な入込などにより、多くの市町村が増加となっている一方、ゴールデンウィークにおける国道230号中山峠の通行止めなどにより、入込客数が減少した町村もあり、全体としては4%の微増という結果となった。

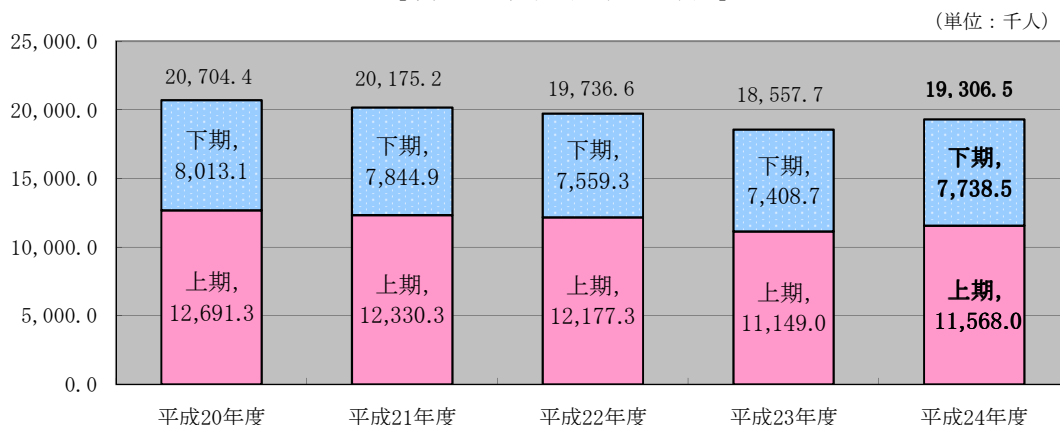
- (増) 東日本大震災の影響により低下したレジャー、観光需要が回復したことによる観光客の増加
- (増) 冬季におけるスキー客の増加や円安傾向による海外客の増加
- (減) 自然災害に伴う道路通行止め等による一部町村での観光客の減少
- (減) 修学旅行訪問先の変更による観光客の減少

(2) 観光入込客数の過去5年間の推移

【観光入込客数】



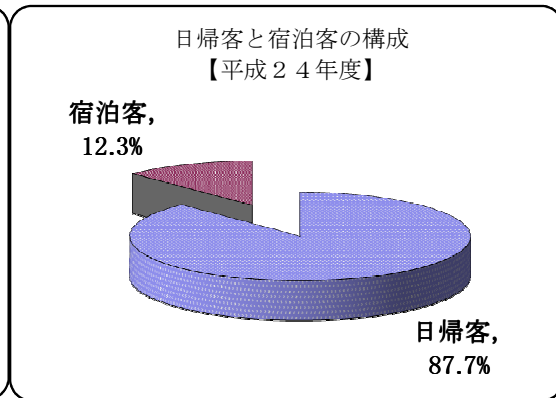
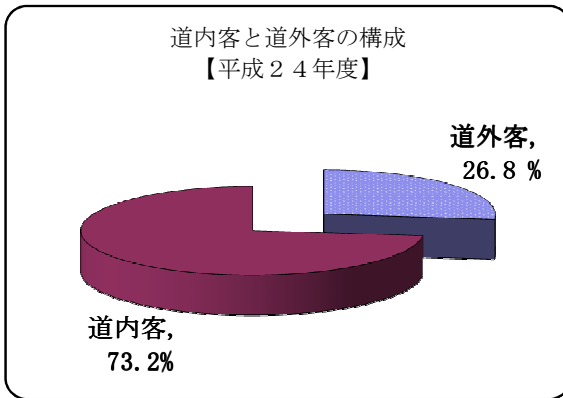
【観光入込客数（上期・下期）】



(3) 道外客・道内客構成比率、宿泊客・日帰客構成比率、平均宿泊日数

(単位：千人)

	観光入込客数	内訳		内訳		宿泊客延数	平均宿泊日数
		道外客	道内客	日帰客	宿泊客		
H24年度	19,306.5	5,170.3	14,136.2	16,932.5	2,374.0	3,039.1	1.28泊
H23年度	18,557.7	4,720.6	13,837.1	16,268.8	2,288.9	3,045.3	1.33泊
対前年比	104.0%	109.5%	102.2%	104.1%	103.7%	99.8%	109.9%
構成比(H24)	100.0%	26.8%	73.2%	87.7%	12.3%		
構成比(H23)	100.0%	25.4%	74.6%	87.7%	12.3%		



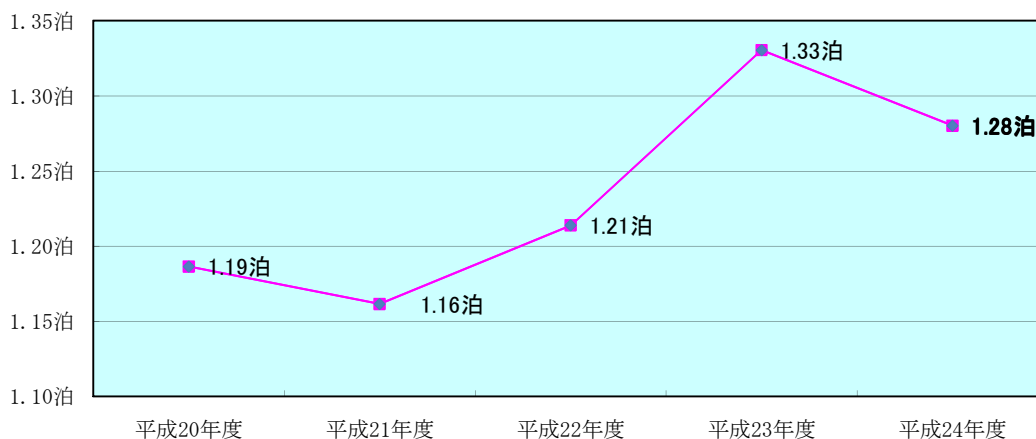
・道内客と道外客の構成は、道内客が1,413万6,200人(73.2%)、道外客が517万300人(26.8%)と7割以上が道内客となっている。

・日帰客と宿泊客の構成は、日帰客が1,693万2,500人(87.7%)、宿泊客が237万4,000人(12.3%)と約9割が日帰り客となっている。

(単位：千人)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
宿泊客数	2,542.3	2,398.8	2,241.7	2,288.9	2,374.0
宿泊客延べ数	3,016.4	2,786.3	2,721.1	3,045.3	3,039.1
平均宿泊日数	1.19泊	1.16泊	1.21泊	1.33泊	1.28泊

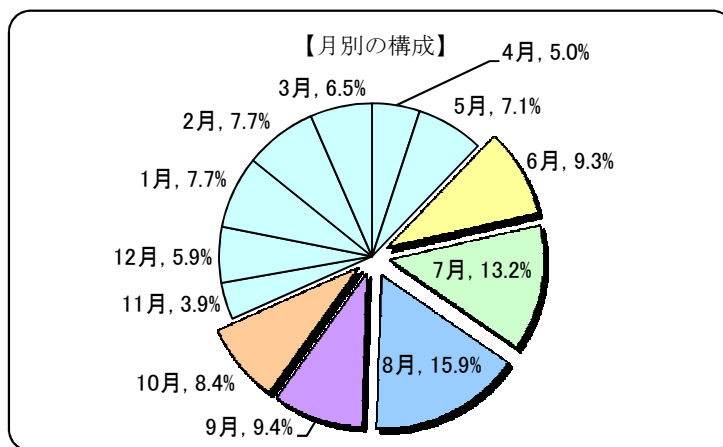
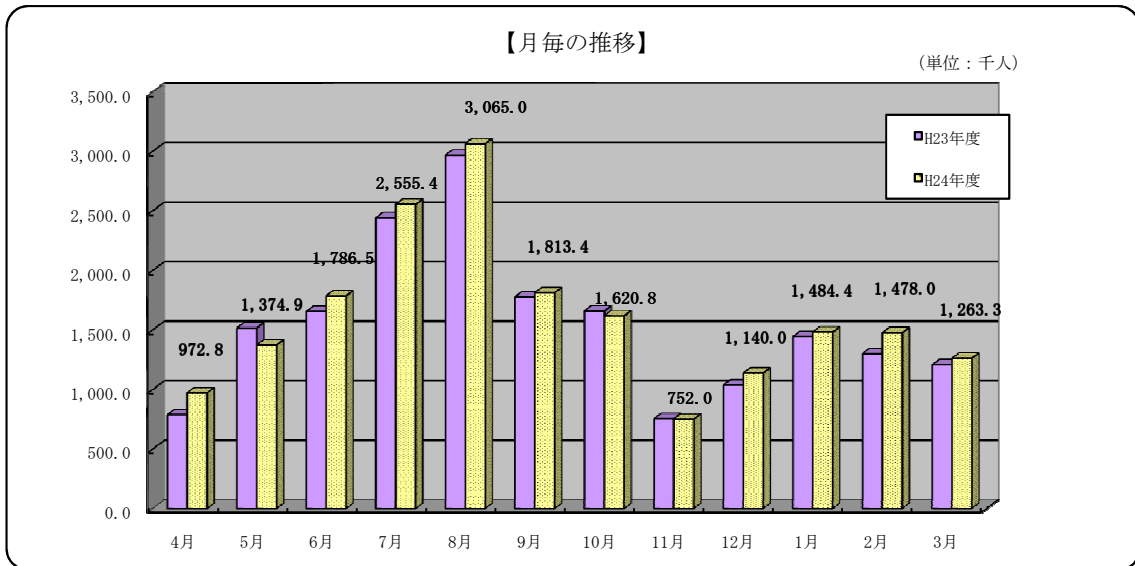
【過去5年間の平均宿泊日数の推移】



(4) 月毎の推移と構成

(単位：千人)

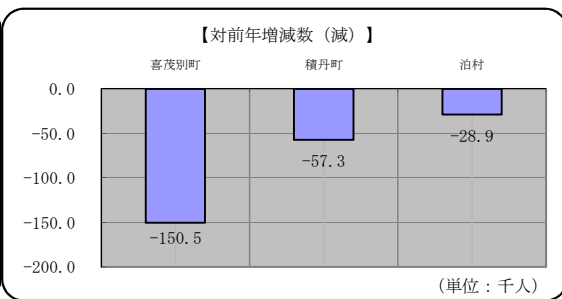
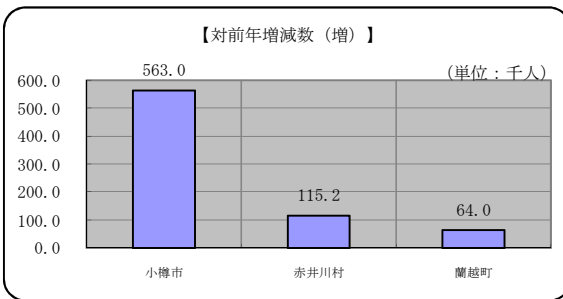
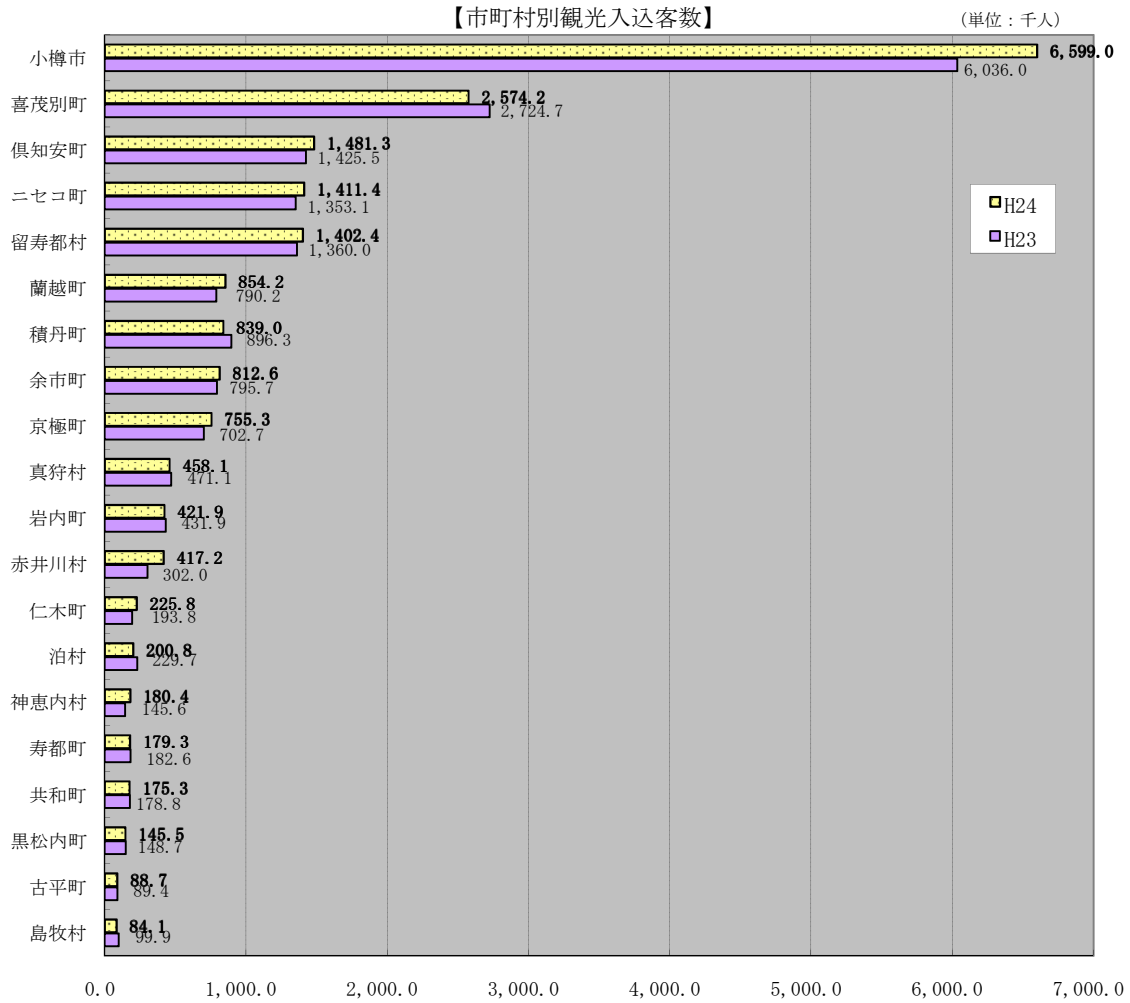
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H24年度	972.8	1,374.9	1,786.5	2,555.4	3,065.0	1,813.4	1,620.8	752.0	1,140.0	1,484.4	1,478.0	1,263.3	19,306.5
H23年度	788.3	1,516.7	1,655.7	2,441.9	2,968.3	1,778.1	1,660.6	754.8	1,038.5	1,445.2	1,301.9	1,207.7	18,557.7
対前年比	123.4%	90.7%	107.9%	104.6%	103.3%	102.0%	97.6%	99.6%	109.8%	102.7%	113.5%	104.6%	104.0%



- ・月別の構成では、8月が306万5,000人と最も多く、全体の15.9%を占めている。
- ・次いで7月が255万5,400人、13.2%と続き、以下9月、6月、10月の順となっている。
- ・上期(4月～9月)の前年同月比較では、東日本大震災の影響による大幅な減少からの回復が堅調であったことから、中山峠の土砂崩れに伴う国道230号の通行止めの影響により減少した5月を除くすべての月で増加した。
- ・下期(10月～3月)の前年同月比較では、10月、11月が天候不順の影響などによりやや減少しているものの、12月以降は降雪に恵まれたのスキー場の効果などにより、前年に比べ増加となっている。

(5) 市町村別（入込客数、増加数グラフ）

○入込客数



小樽市： 東日本大震災の影響回復や格安航空会社の新千歳空港就航等により、道外客や宿泊客とともに、外国人観光客も増加。

喜茂別町： 平成24年5月の中山峠土砂崩れによる国道230号の通行止めの影響により、5月の入込客数が減少。

赤井川村： 夏休み期間の誘客事業や冬期間のスキー場イベント開催などによる道外からのスキー客の増加。

積丹町： 平成23年9月の大雨による神威岬の遊歩道の通行止めの影響による減少。

蘭越町： 町内の温泉や観光施設において日帰り客・宿泊客がともに増加。

泊村： 村内の観光施設での入場者数減少。